

# 目 次

第1章	1. 神経難病患者をめぐる概況	1
	2. 神経難病患者のサポートの必要性	2
第2章	神経難病患者の心理的サポート	3
	1. 神経難病患者における心理的サポート	3
	2. 個人に対する心理的援助	4
	1) 援助者の姿勢・態度	4
	2) 話しの聴き方	5
	3) 応答のヒント	5
	3. 集団による心理的援助	6
	1) 集団の構成と運営	6
	2) 促進的会話の方法	7
	3) 学習のプロセス	8
	4. 個人、集団による援助の相違点とまとめ	9
第3章	神経難病患者の集団理学療法	11
	1. 神経難病における集団理学療法の意義	11
	1) 集団理学療法の目的	11
	2) 集団理学療法の有用性	11
	3) 理学療法士の役割	12
	2. 病院での実践例ーパーキンソン病患者への集団理学療法の試みー	13
	1) 動機と概要	13
	2) 対象者と手続き	13
	3) 実施内容	13
	4) 実践から得たこと、感じたこと、課題	19
	5) まとめ	19
	3. 保健所における実践例ー脊髄小脳変性症患者への集団理学療法の試みー	20
	1) 動機と概要	20
	2) 対象者と手続き	20
	3) 実施内容	20
	4) 実践から得たこと、感じたこと、課題	22
	5) まとめ	23
	4. 集団理学療法で考慮すべき条件と今後の課題	24
	1) 集団理学療法で考慮すべき条件	24
	2) 今後の課題	25

<b>第4章 地域における実践例</b> .....	27
1. 上越地域の支援概要 .....	27
1) 支援の経緯 .....	27
2) 心理的サポート教室開催の動機 .....	27
2. 集団による心理サポートの取り組み .....	27
1) 実施目的 .....	27
2) 実施経過 .....	27
3. 結果 .....	30
1) アンケート結果 .....	30
2) 参加者の変化 .....	30
3) スタッフの変化 .....	31
4. 地域の変化 .....	32
1) 市町村行政及び関係機関の難病患者支援における理解の深まり .....	32
2) 地域資源の拡大、強化 .....	33
3) ネットワークづくりの強化 .....	33
5. 実施における留意点と今後の課題 .....	33
1) サポートグループ実施にあたっての留意点 .....	33
2) スタッフのコミュニケーション技術向上における課題 .....	34
3) サポートグループ継続のために必要なこと .....	34
6. 保健所の役割とまとめ .....	35
<b>第5章 ソーシャルワークにおけるサポート</b> .....	37
1. 神経難病におけるソーシャルワーク .....	37
1) 業務の動向 .....	37
2) ソーシャルワークにおける視点 .....	38
3) 具体的心理支援形態 .....	38
2. 新潟県の難病対策事業の現況 .....	39
3. 上越地区のソーシャルワークの実際 .....	41
1) 組織化のプロセスー連携を巡ってー .....	42
2) 留意点と今後の課題 .....	43
<b>あとがき</b> .....	44

## 執筆者

研究班班長	福原信義 (国立療養所犀潟病院)	第1章. 1
分担研究者	後藤清恵 (新潟青陵短期大学)	第1章. 2, 第2章
研究協力者	波多腰峰子 (国立長野病院)	第3章. 1, 2, 4
	小林量作 (新潟医療福祉大学)	〃
	近藤隆春 (国立療養所犀潟病院)	〃
	小山英央 (国立療養所犀潟病院)	〃
	早津敏彦 (新潟県上越保健所)	第3章. 3
	浅井正子 (新潟県上越保健所)	第4章
	沖田慶子 (新潟県上越保健所)	〃
	鎌田みや子 (新潟県上越保健所)	〃
	高津由子 (国立療養所犀潟病院)	第5章